

2019年11月25日

あおぞら投信株式会社

「外交を 支える人の 見えざるは

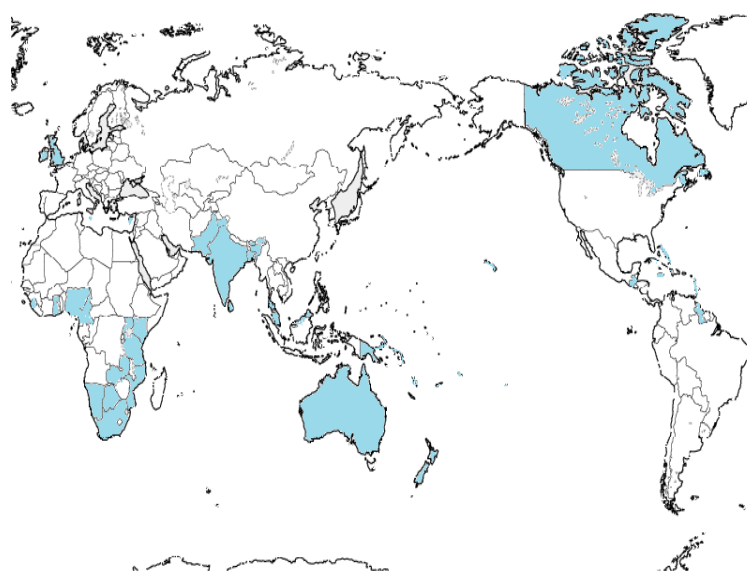
自治を認める 懐にあり」

今月(11月)チリでの開催が予定されていたAPEC(アジア太平洋経済協力会議:21ヶ国)はチリの国内事情で中止となりましたが、その他にもRCEP(東アジア包括的経済連携:16ヶ国)の会議が開催されており、今や世界的な連携の議題は政治的紛争よりも、経済的な発展のための会議となってるケースが増えていると言えます。戦いよりも健全な発展を目指すという意味で21世紀の会議体は動いていくのでしょうか。

そのような中で英国は依然として英連邦という53ヶ国が防衛問題を含めて連携していくという組織を持っています。1887年に開催された英国植民地会議は、大英帝国(British Empire)から英連邦(British Commonwealth)へと引き継がれ、本国と自治領が対等な関係へと変化して存在し続けてきました。1947年にはインド、パキスタンの独立、そして英国のEC加盟でその役割は弱まりつつも、1971年に締結された英国、オーストラリア、ニュージーランド、マレーシア、シンガポール5ヶ国間条約のように、緊密な防衛協力は実在しているのです。7つの海を制していた英国の特徴は、植民地の自治を大切にしてきたことです。香港の発展も、現地の力を活かすことで自分たちのネットワークを形成することが出来たのです。このような外交力は他の国にはないものであり、現在のように短期的な経済発展を目指す動きとは異なる時間軸の関係であるとも言えます。民族を超えて世界的な視野をもつことこそが、英国でのエリート教育の中に存在するように、自分たちのネットワークを作ることが21世紀の自分たちの役割なのだと考えます。

柳谷俊郎

現在の英連邦の国々 (53ヶ国)



※色付きの国々が英連邦加盟国。

出所：英連邦事務局の情報を基にあおぞら投信が作成。

地域名	国名
ヨーロッパ	イギリス、マルタ、キプロス
アメリカ	アンティグア・バーブーダ、カナダ、グレナダ、ジャマイカ
	セントクリストファー・ネービス、セントビンセント・グレナディーン
	セントルシア、ドミニカ国、トリニダード・トバゴ
	バハマ、バルバドス、ベリーズ、ガイアナ
アフリカ	ウガンダ、ガーナ、カメルーン、ガンビア、ケニア、ザンビア
	シエラレオネ、エスワティニ、セーシェル、タンザニア
	ナイジェリア、ナミビア、ボツワナ、マラウイ、モーリシャス
	モザンビーク、レソト、南アフリカ、ルワンダ
アジア	インド、シンガポール、スリランカ、パキスタン
	バングラディッシュ、ブルネイ、マレーシア
オセアニア	オーストラリア、キリバス、サモア、ソロモン諸島、ツバル、フィジー
	トンガ、ナウル、ニュージーランド、バヌアツ、パプアニューギニア

本資料は情報の提供を目的としており、何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、本資料作成日現在の当社の見解であり、事前の予告なしに変更される事もあります。投資信託の取得に当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)等の内容を必ずご確認の上、ご自身でご判断ください。

商号：あおぞら投信株式会社 金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第2771号

加入協会：一般社団法人投資信託協会 ホームページ・アドレス：<http://www.aozora-im.co.jp/>